# 受診のポイント

vol.4年報/2009.09.01発行

❶ 受診のポイント
❷ 予防接種
❸ アレルギー外来

小児科外来ができて早1年半になります。開院したてのバタバタ感がなくなり落ち着いてきましたが、まだまだ患者様の目線に立てていないことも多いように思います。
そこで、今年の年報では受診のポイントや予防接種、アレルギーのことなど皆様のリクエストを特集してみました。これにより少しでも患者様との距離が縮まり受診して頂きやすくなればと思います。

## 7 受診のポイント ― 症状別の対応 ―

### 発熱

お熱があっても、機嫌がよく、食欲があれば、家で様子をみても大丈夫です。
お熱があっても元気であればお薬で無理にお熱を下げる必要はありません。
家でゆっくりと寝かせてあげてください。

**こんなときには病院へ行きましょう**

- 生後半年以内の赤ちゃん
- お熱が高くぐったりしているとき
- 水分やお食事がほとんどとれないとき
- 3日以上お熱が続くとき
- 周りでインフルエンザなど流行りの病気があるとき

### 咳

咳がではじめたら、加湿器などを使って部屋を乾燥させないようにしましょう。
また、時々部屋を換気して新鮮な空気をいれましょう。せき込みがひどい場合は坐って背中をたたいたり、痰を切りやすくするためにお水を飲ませたりしましょう。
ぜんそくの場合には、ほこりやたばこの煙などにも注意してください。
咳がひどくなることもあります。

**こんなときには病院へ行きましょう**

- 咳がどんどんひどくなってくるとき
- 咳がひどくて夜眠れないとき
- 吐いてしまうほど咳がひどいとき

### 下痢

下痢でも、水分や食べ物がとれていれば大丈夫です。水分を与えながら様子をみてください。
失われた水分を補うには、塩分や糖分の含まれた経口補水剤（アクアライトやOS1など）がおすすめです。

**こんなときには病院へ行きましょう**

- ウンチにたくさん血が混じるとき
- 嘔吐も伴ってぐったりしているとき
- お水のようなウンチが頻回なとき
- 水分がとれなくなり、ぐったりしてきたとき
- おしっこが少なくなってきたとき

### 嘔吐

お熱もなく、1-2度吐いた後も機嫌がよければ大丈夫です。失われた水分を補うために、塩分や糖分の含まれた経口補水剤（アクアライトやOS1など）を少しずつあたえてください。目安は1回にスプーン1杯程度です。一度に欲しがるだけ与えると、嘔吐することがあるので気をつけましょう。食欲がないようなら、無理に食べさせないようにしましょう。
少しずつ水分がとれていれば大丈夫です。

**こんなときには病院へ行きましょう**

- 水分を摂ってもすぐに嘔吐してしまうのを繰り返すとき
- 水分が摂れずぐったりしているとき
- おしっこが少なくなってきたとき
- 下痢を伴ってぐったりしているとき
- 頭痛や発熱があるとき
- 顔色が悪いとき